

こどもの権利・参画のための実態調査_結果

小・中学生・高校生集計(2026.6.26時点)

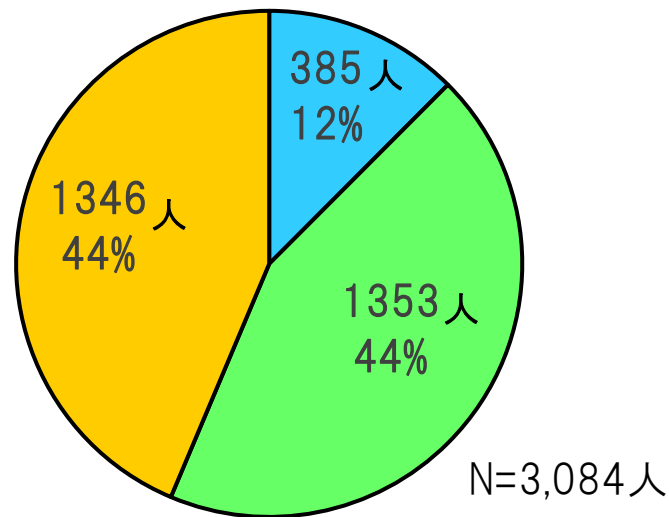
2026(令和8)年7月15日
健康福祉部こども政策課

こどもの権利・参画のための実態調査について

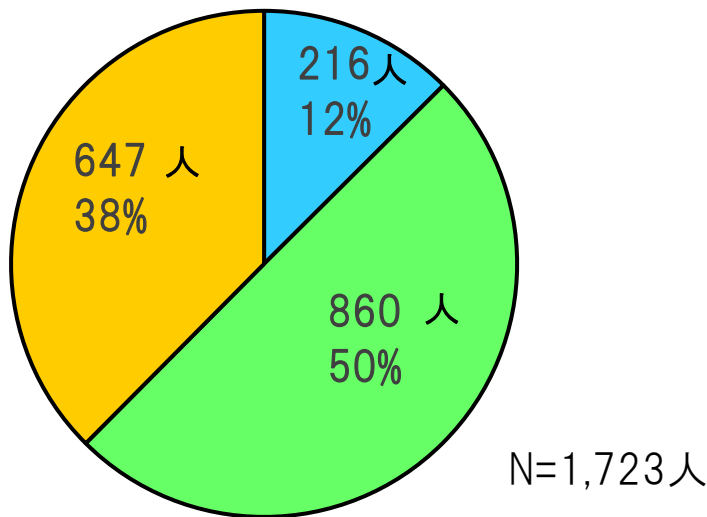
- 【目 的】 こどもが安心して暮らし、健やかに成長するまちをめざし、こどもの権利が日常化する状態にしていくため「伊賀市こどもの権利条例」の制定を進めている中、こどもの権利等に関する実態や意識を把握することで、条例制定の基礎資料とする。
- 【調査対象】 ・市内の小中学校に通学する小学1年生～中学3年生(5,322人)※回答必須
・市内の高校に在席する高校1年生～高校3年生(1,855人) ※回答任意
- 【調査方法】 学校へ調査項目のURLとQRコードを送付。学校にてタブレットにより回答
- 【調査項目】 別添「こどもの権利・参画のための実態調査」の内容による
- 【調査期間】 小中学生:5/28(木)～6/10(水) 高校生:6/10(水)～6/26(金)
- 【結果の活用】 こどもの意識を確かめて、現在策定中の「伊賀市こどもの権利条例」の条文の参考とするとともに、記述意見を中心に条例前文作成に活用。
- 【調査結果】 小中学生:対象5,322人中4,807人回答 (R8.6.25時点) 回答率90.3%
高校生:対象1,855人中407人回答 (R8.6.26時点) 回答率21.9%

問1 あなたは、学校や家庭で言いたいことをがまんすることがありますか。

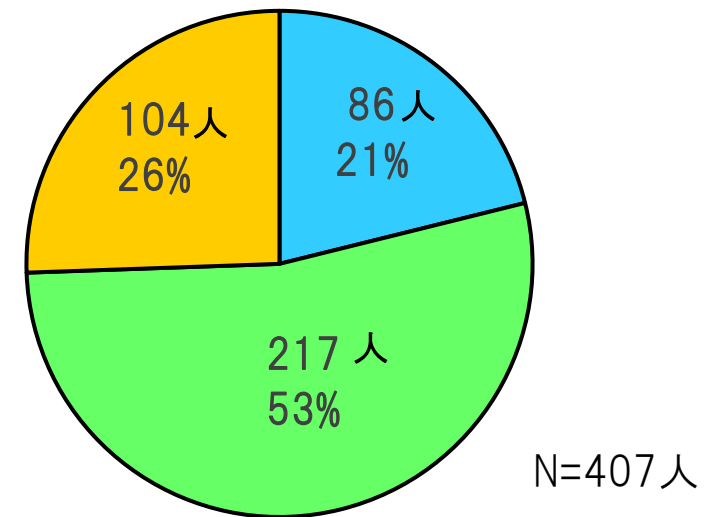
小学生



中学生



高校生



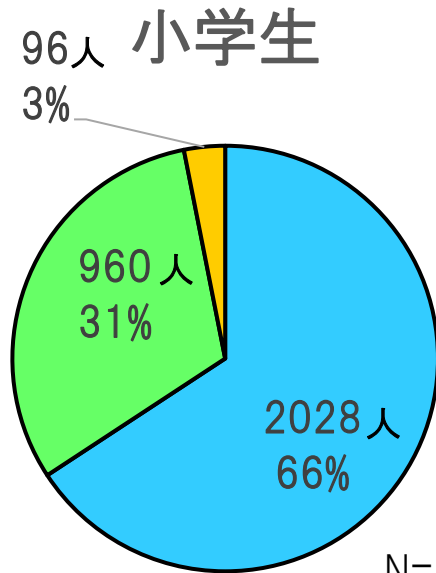
■よくある ■たまにある ■ない

■よくある ■たまにある ■ない

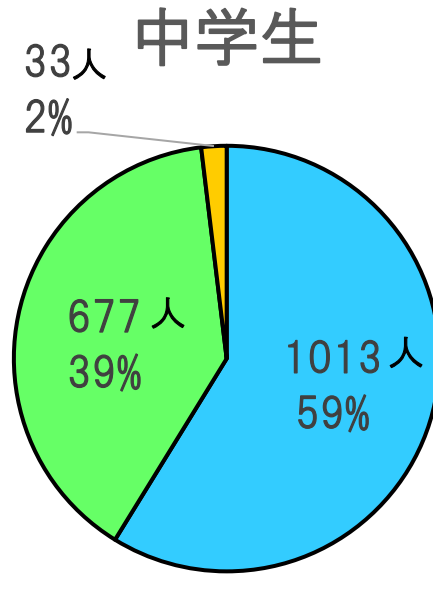
■よくある ■たまにある ■ない

小学生・中学生ともに「たまにある」も含め、言いたいことをがまんする経験をしている子が半数以上いる現状があります。高校生に関しては、4分の3以上ががまんする経験をしたことがあるという結果となりました。一人ひとりの意見を尊重しあえる社会にしていく必要があるとこの結果から読み取れます。

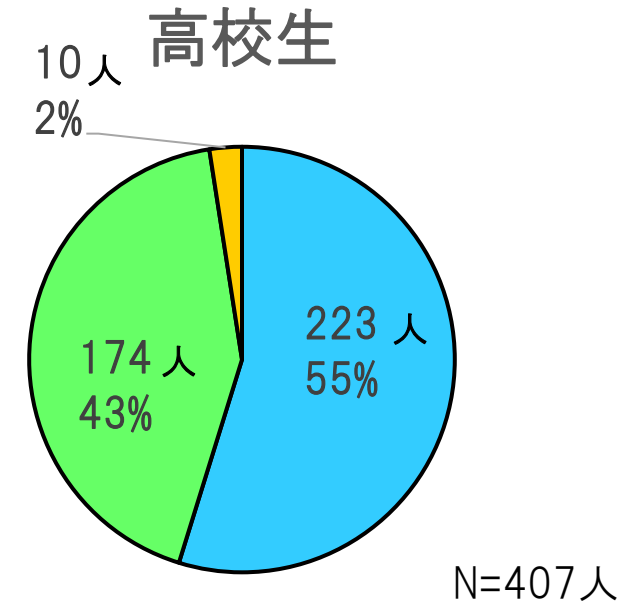
問2 学校や家庭であなたの意見は大切にされていますか。



- 大切にされている
- ある程度大切にされている
- 大切にされていない



- 大切にされている
- ある程度大切にされている
- 大切にされていない

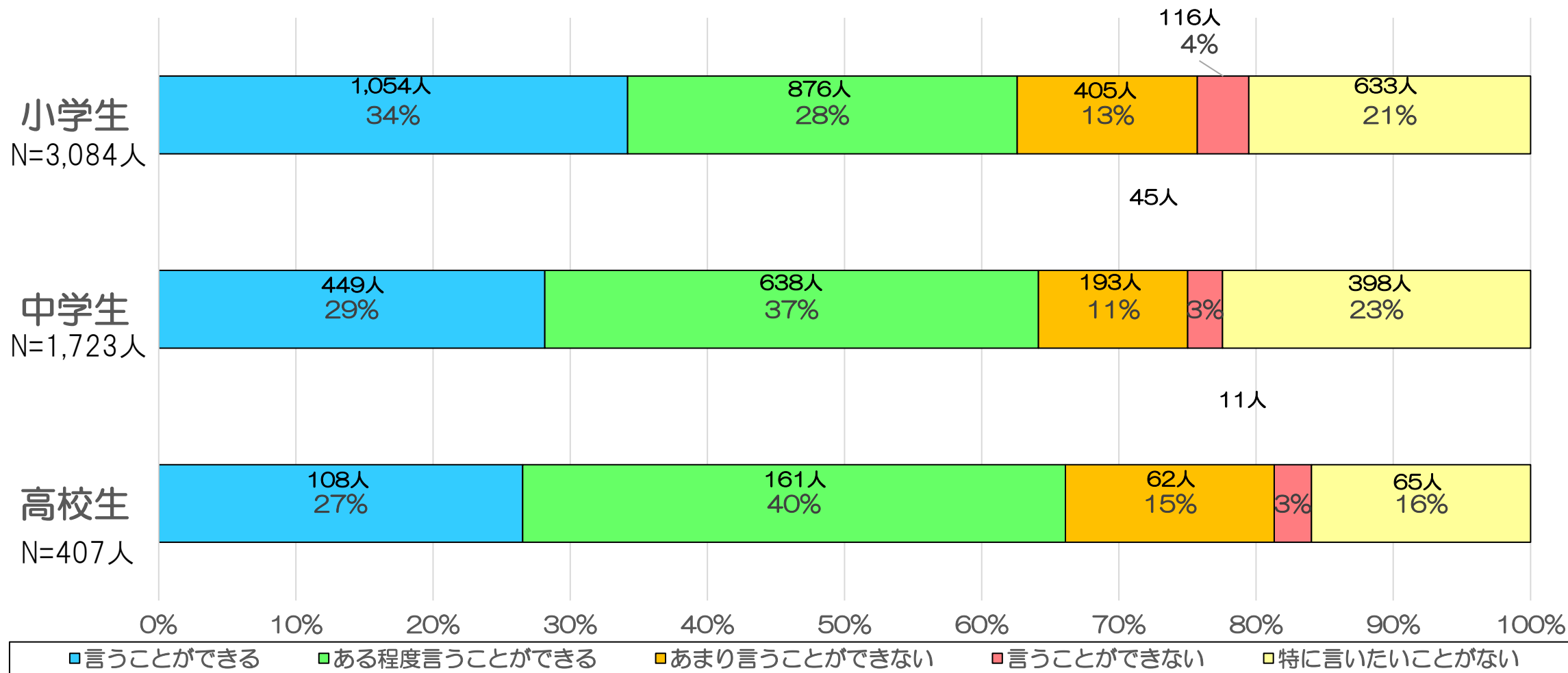


- 大切にされている
- ある程度大切にされている
- 大切にされていない

- 小中学生の約9割以上が、学校や家庭で自分の意見が大切にされていると感じている。
一方で、「大切にされていない」と答えた割合は少数でも、一人ひとりの声を見過ごさない取り組みが重要だと考えます。

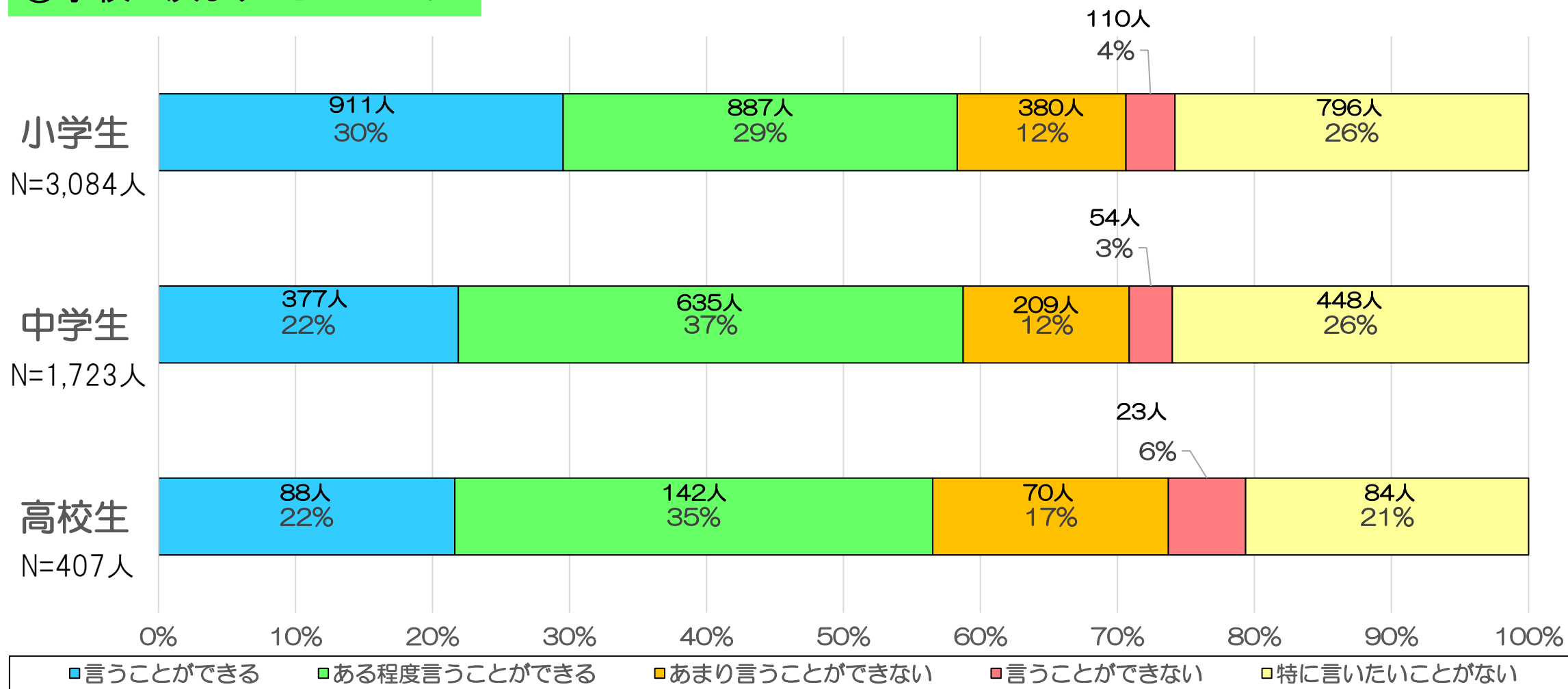
問3 自分の考えや思いがあるときに、それを言える機会がありますか。

①学校行事・イベントの企画や運営について



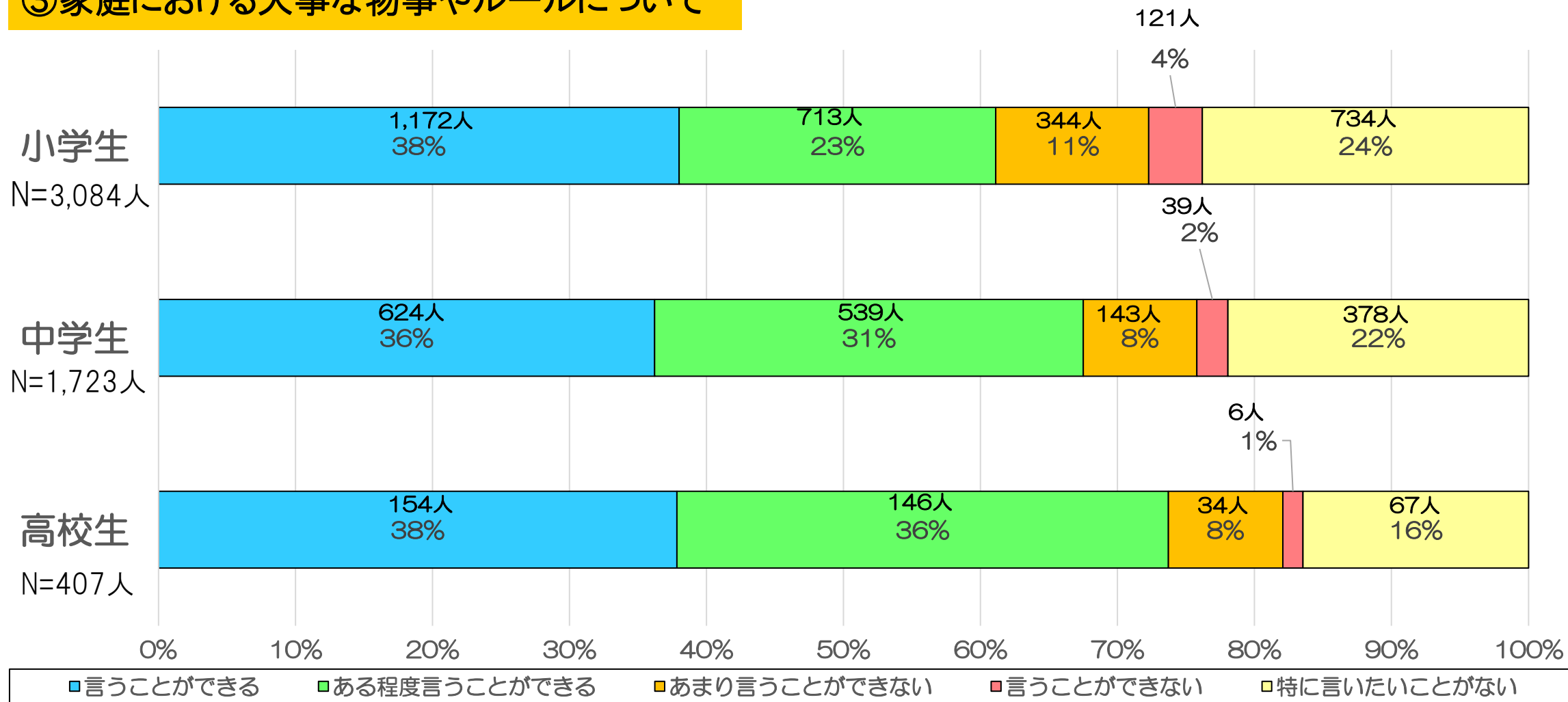
問3 自分の考えや思いがあるときに、それを言える機会がありますか。

②学校の決まりごとについて



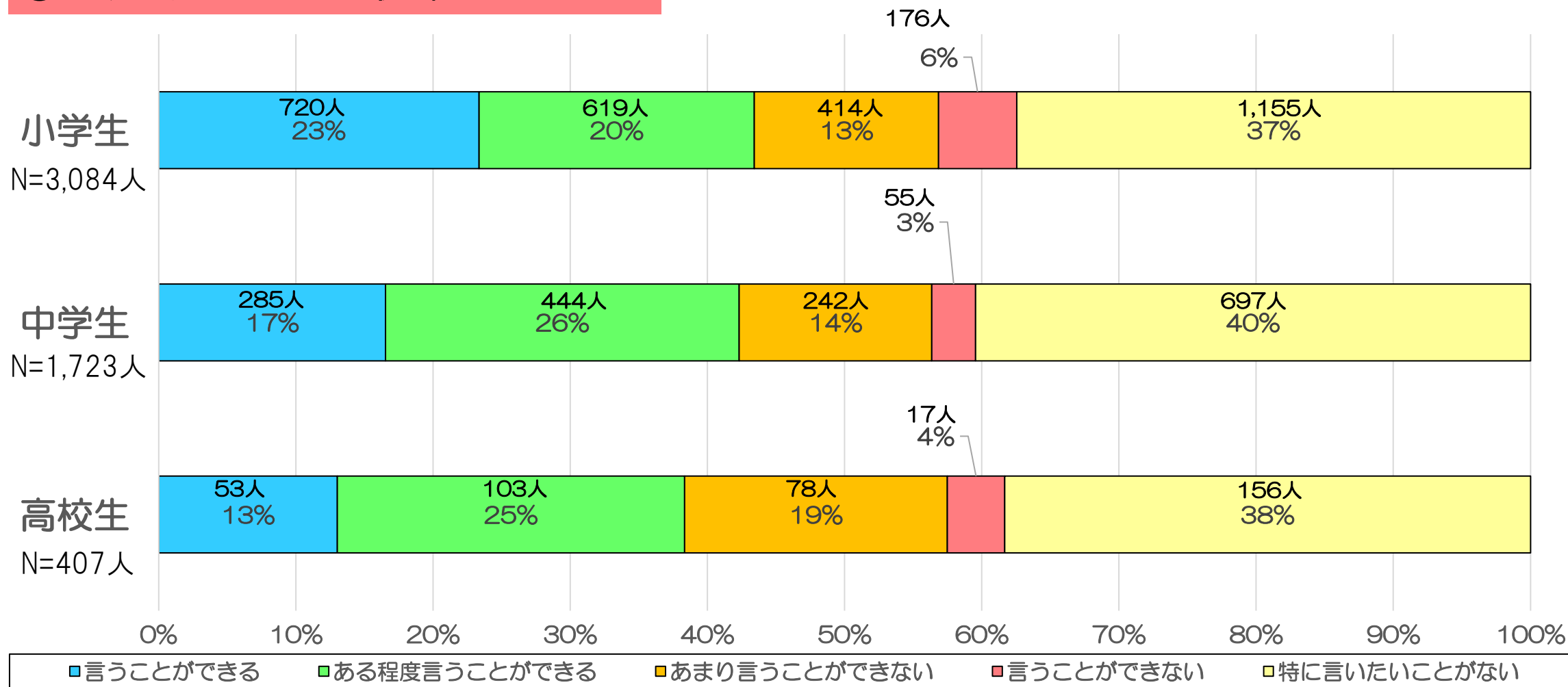
問3 自分の考えや思いがあるときに、それを言える機会がありますか。

③家庭における大事な物事やルールについて

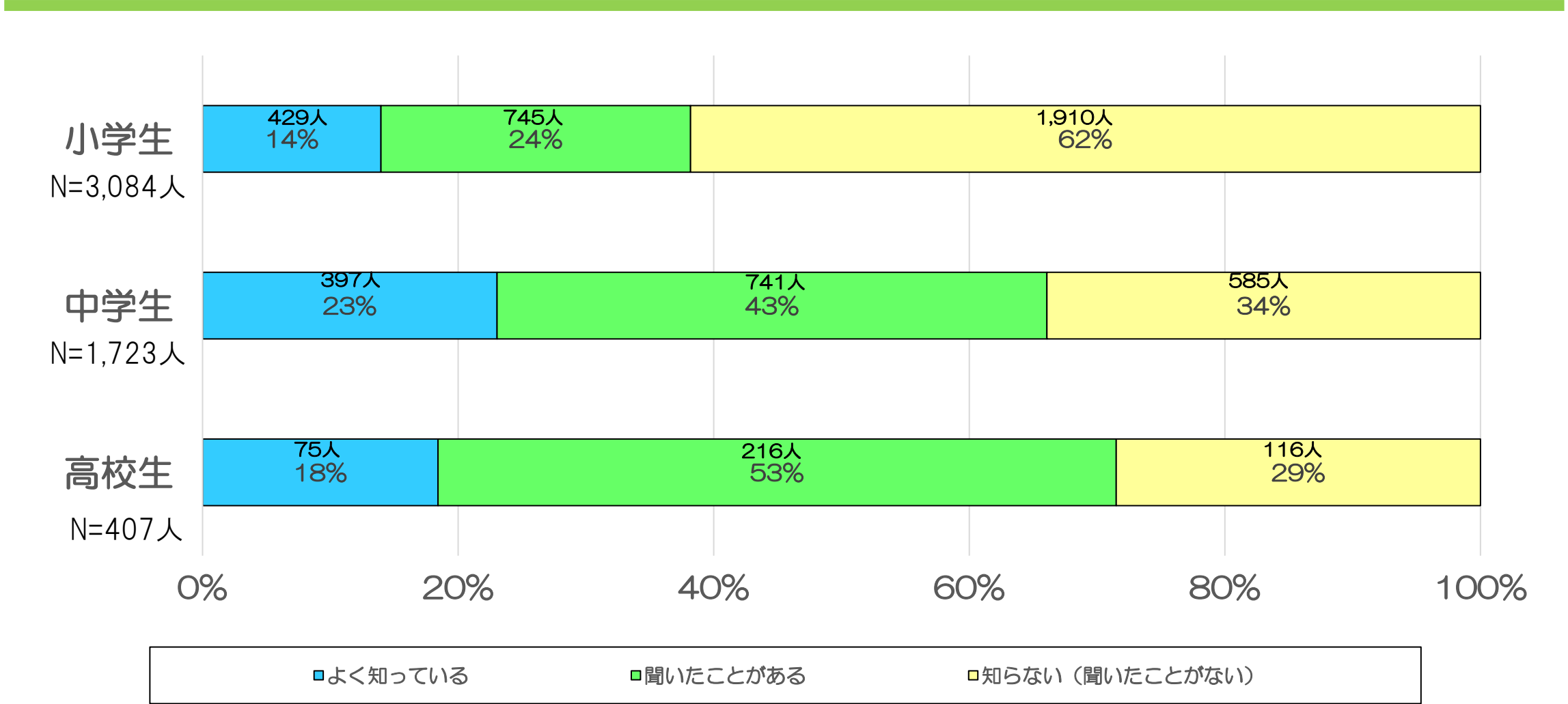


問3 自分の考えや思いがあるときに、それを言える機会がありますか。

④地域で行われている取り組みについて

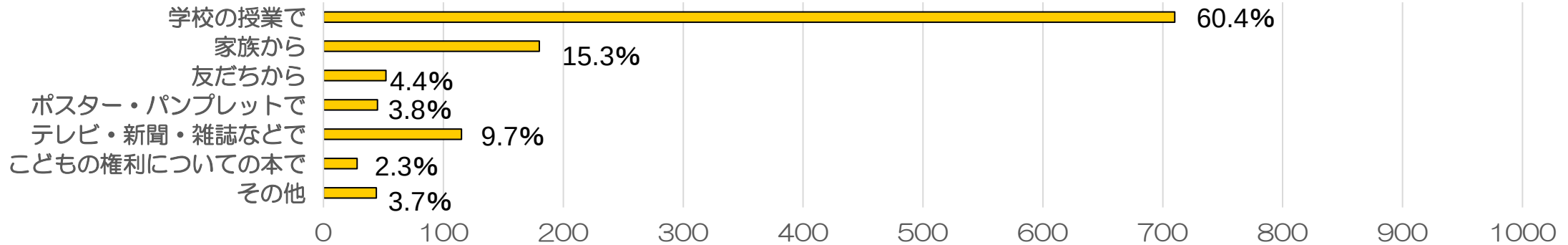


問4 あなたは、こどもの権利について国際的な条約(子どもの権利条約)があることを知っていますか。

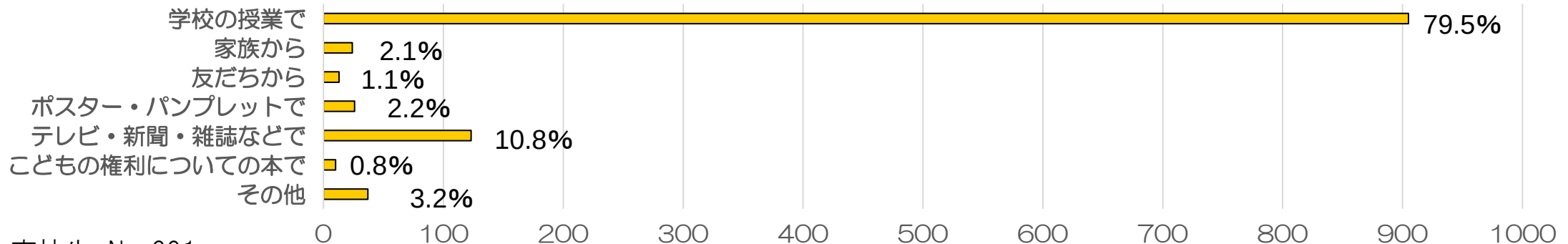


問4-1 どのように知りましたか。(N値については、問4の「知っている」「聞いたことがある」と答えた生徒数の合計)

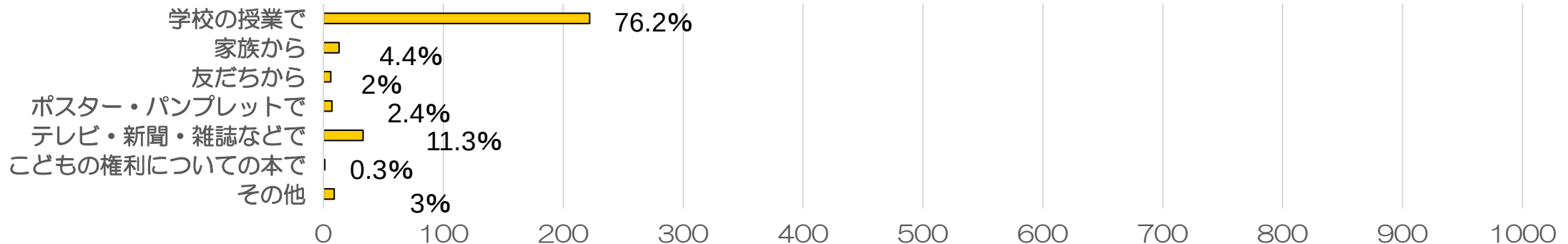
小学生 N=1,174



中学生 N=1,138

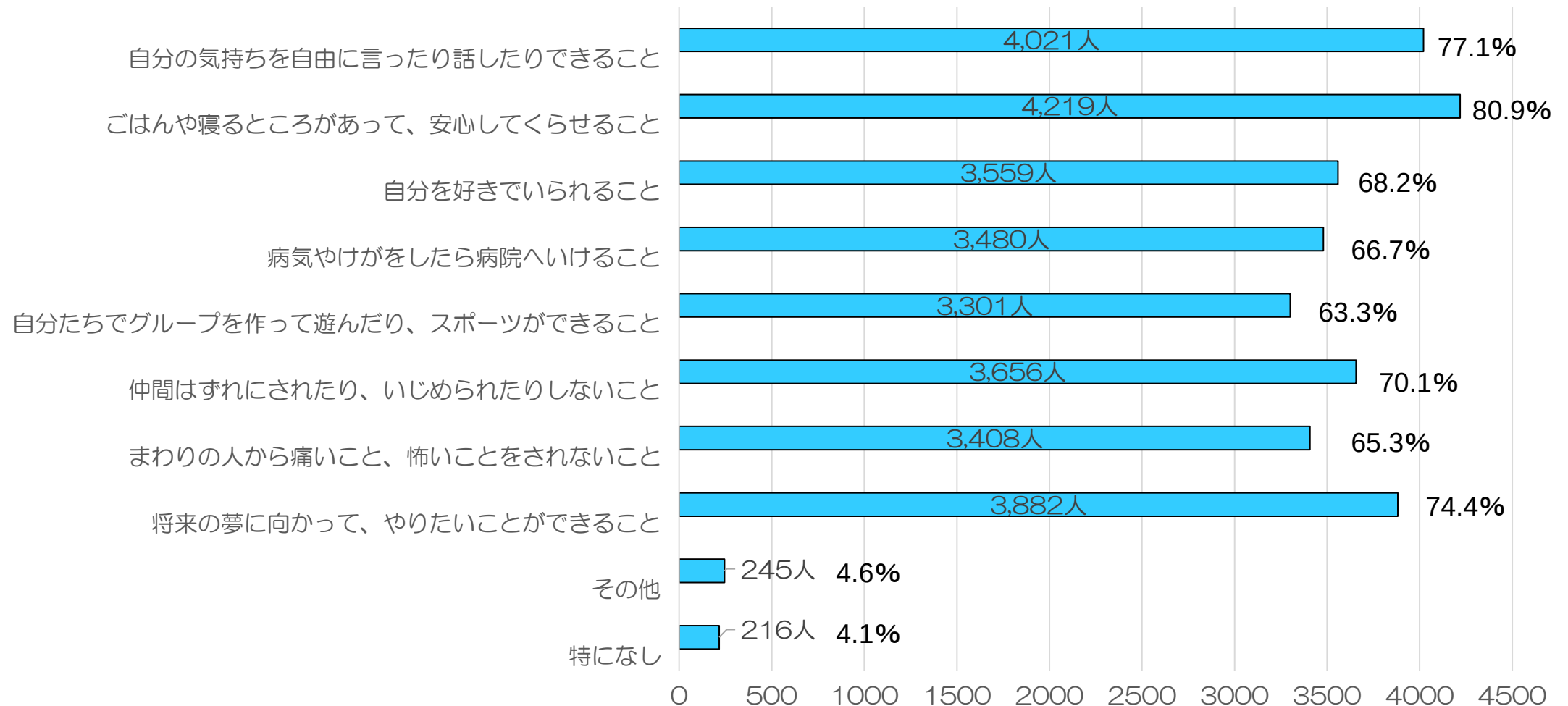


高校生 N=291



※その他の内容(インターネット(SNS)、ネットの記事、地区学習会、人権講演会など)

問5 あなたが「こどもにとって大切だと思うこと」について、教えてください。（複数選択可）

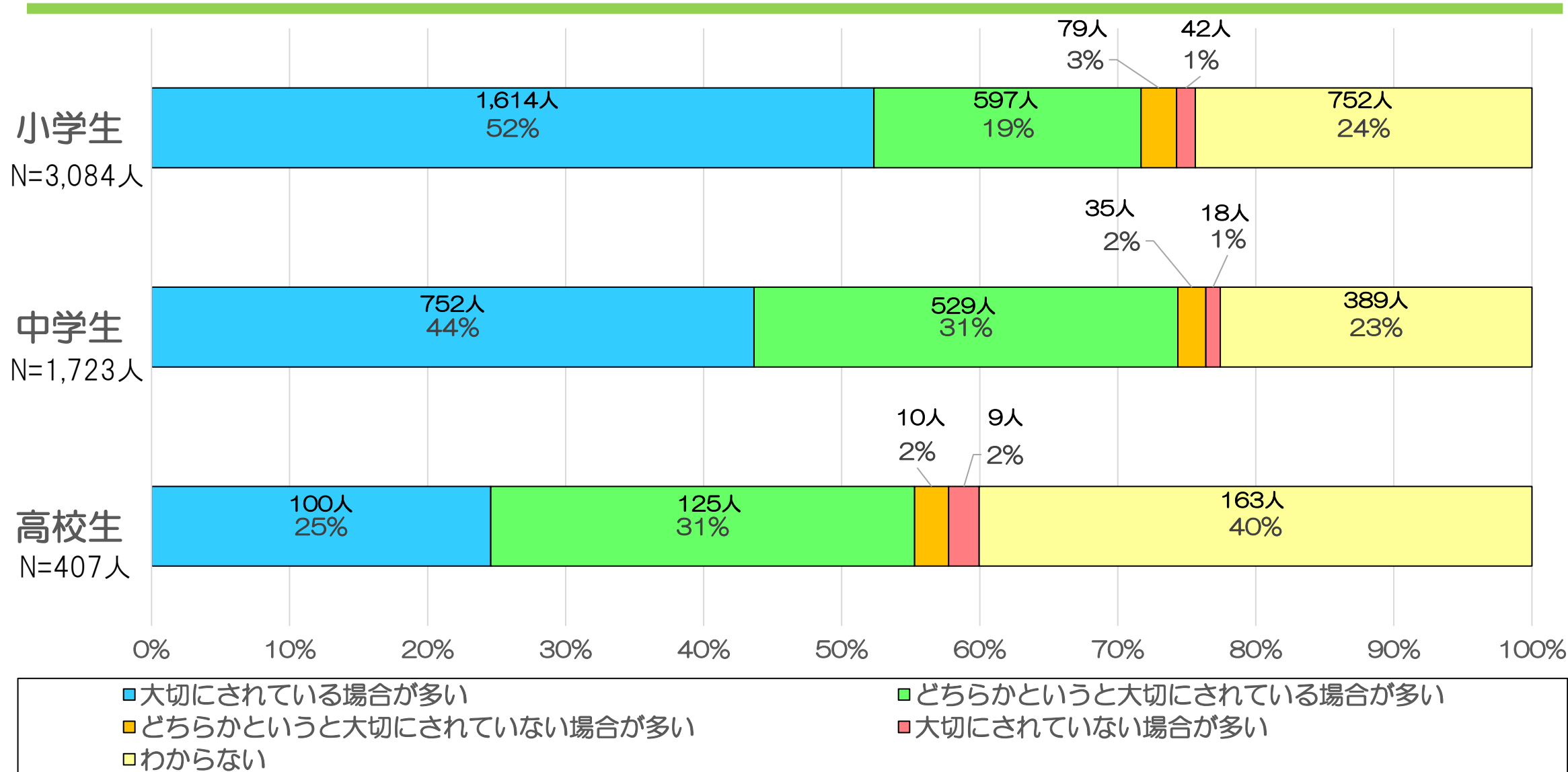


N=5,214人

その他の意見

- ・差別、虐待がないこと
- ・学校に通い勉強できること
- ・周囲から愛情を持って育てられること
- ・いつでも本音を話せる安心できる居場所があること など

問6 伊賀市では、こどもの権利が大切にされていると思いますか。



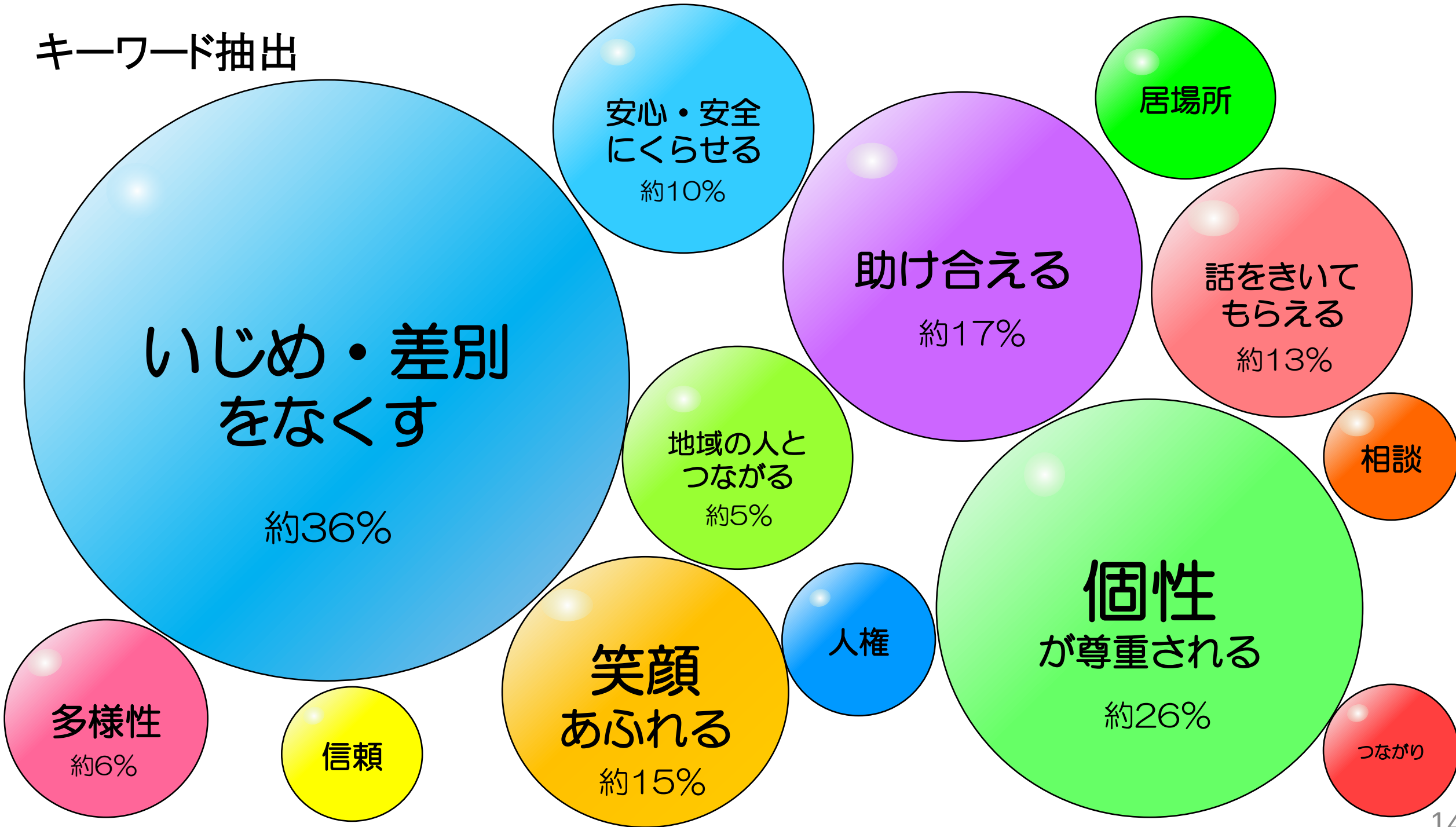
問7 自分たちの思いが届き、安心してくらすために、 どのようなまちになればいいと思いますか。（自由記述）

こどもたちの声

7,177人中4,223人 回答あり

- ・いじめや差別がなく、みんなが安心してくらせる伊賀市にしたい。（約36％）
- ・一人ひとりの個性や考え方が尊重されるクラスがいい。（約26％）
- ・相談できる人や場所がある地域がいい。（約17％）
- ・笑顔いっぱいの学校がいい。（約15％）
- ・自分の話を最後まで聞いてもらえる学校がいい。（約13％）
- ・安心して遊べる場所が欲しい。（約11％）
- ・LGBTQ+の人も安心してくらせるまちがいい。（約6％）
- ・障がいのある人もくらしやすいまちがいい。（約6％）
- ・部落差別のない社会。（約6％）
- ・地域の人とつながれる伊賀市がいい。（約5％） など…

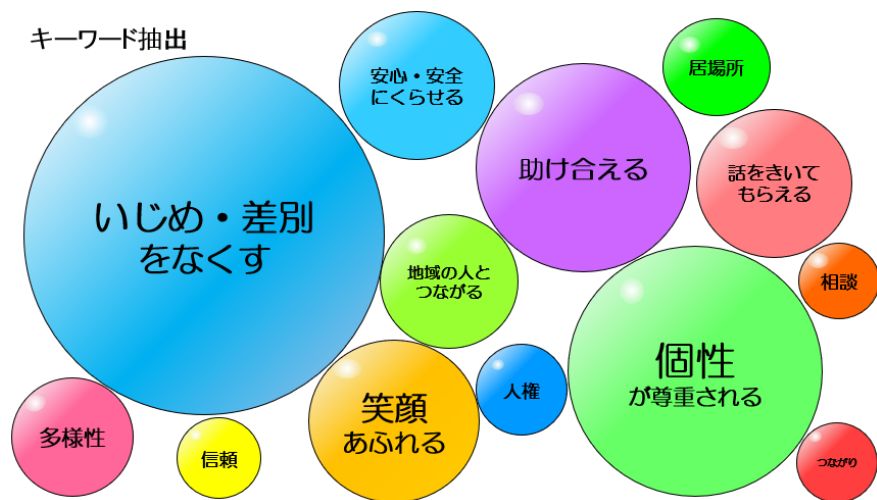
キーワード抽出



こどもたちの声を形に…

伊賀市こどもの権利条例前文(案)

キーワード抽出



こどもたちの声

- ・いじめや差別がなく、みんなが安心して過ごせる伊賀市にしたい。
- ・一人ひとりの個性や考え方が尊重されるクラスがいい。
- ・相談できる人や場所がある地域がいい。
- ・笑顔いっぱいの学校がいい。
- ・自分の話を最後まで聞いてもらえる学校がいい。
- ・安心して遊べる場所が欲しい。
- ・LGBTQ+の人でも安心して過ごせるまちがいい。
- ・障がいのある人もくらしやすいまちがいい。
- ・部落差別のない社会。
- ・地域の人とつながれる伊賀市がいい。 など…

思いを形に！

ぜんぶん 前文(案)の概要

わたしたちは、伊賀市が「安心して、自分らしく
生きられるまち」であることを願っています。わた
したちが、最も強く願っているのはいじめや差別を
なくすことで、仲間外しのない居心地のよいクラス
を求める声が何度も寄せられました。また、自分の
意見を安心して言える場所や、声がちゃんと届くし
くみをつくってほしいと思っています。困ったとき
に一人で抱え込まず、助け合える環境や、真剣に向
き合ってくれる大人の存在も、わたしたちにとって
とても大切です。一人ひとりの個性が認められ、大
人といっしょに笑顔あふれるまちをつくっていきだ
いです。